

# 光栄の森

2022年12月号 毎月1日発行 第172号  
発行所 光栄フロンテック 中川

## 12月に向けて

代表取締役 三田雅憲

11月に入り寒さがぐっと厳しくなり、朝布団から出るのが本当に大変になってきましたが、皆様はいかがですか？

いよいよ今年も残るところ1ヶ月となりました。令和四年もコロナと共にあったといっても過言ではありませんでした。厳しい時期が2年続き、ようやくと思っていたのですが、日本の国独特なのでしょうか？西洋や他の国々と違ってコロナに対して頑なに規制を続け、それが経済にも他分に影響しているのではないかと感じます。

ウクライナとロシアの戦争も経済に悪影響を落としており、早く戦争の終結を祈るばかりです。

当社もようやく11月頃より忙しくなっており、お客様の要求する品質と納期に全社員で答えるように頑張っただけで思っています。特に社員のレベルアップのために、工場長と部長が様々な取り組みを行って来ており、先般もテスト形式の出題をしてきていました。満点の方もおられたようですが、技術と知識、そして知恵がバランス良くアップすることがそれぞれの力になります。

知識を補充する為に、今年9月から「光栄ライブラリ」もOPENしました。仕事をより学び、深めていく努力を忘れないで欲しいと思います。

又11月には、大阪で2回「ビジネスマッチングフェア」という見本市に出展させて頂きました。大阪営業部と千葉営業部の部長と共にマイドーム大阪に出展させて頂きました。特に大阪営業部のM君は初参加ということで大変であったと思いますが、1日ごとに少しずつお客様と話が出来るようになったのではないかと思います。もちろんまだまだ課題は多く、今後も改善していくことがたくさんありましたが、お客様になってもらう大変さを理解すれば、その後の営業の仕方は誠実にしていかなければなりません。もちろん長くお付き合いするためには、いろいろ大変なこともあります。このことも担当者が成長していく大切なプロセスであると考えていますので、営業部の諸君の来期、大阪と東京で見本市に当社は出展いたしますのでどうぞよろしくお願い致します。

又工場の方々も新しいお客様が増えてきて長い付き合いになるように、頑張っただけで思っています。

先日、工場の備品や道具が上長に報告の無いまま、壊れている状態である旨の連絡を受けました。特に使用した時に故障していたり、整備不良であれば仕事に支障が来ますし、最悪の場合、納期に対応できなくなりお客様の信頼を落とすことになってしまいます。私どもの仕事の多くの部分はお客などの信頼や信用の為にやっていることだと思えます。当然会社や社員、同僚との間においても同じことが言えると思えます。

WEBニュースで見られた方もおられると思えます。六甲山の麓にある高野山真言宗鷲林寺の境内にあった参拝者用のトイレが撤去されるというニュースが報じられました。これは、お寺の参拝者だけでなく、六甲山に登られるハイカーさんの為もあって、ある檀家さんの寄付でモダンなトイレが、2007年に建てられました。

しかし、その思いとは裏腹で一部の心なき人によって、使用マナーが悪く水道の栓を壊したり、トイレットペーパーを持ち去ったり、汚しても汚しっぱなしで寺のスタッフも手が回らなくなり、再三注意、協力を呼びかけましたが、改善されることは無かったのでとうとう撤去することになったそうです。

当社においても会社財産の使用や道具の扱い、先程言ったように壊したらちゃんと申し出て改善し、次に備える等当たり前のことがまだまだ出来ていないように思えます。道具を投げて使ったり、雑に使用せず少しでも長持ちするように社員の一人一人は注意し、また出来ていない人には注意し合い、皆が大切にものを扱う会社になって欲しいと思います。

12月には忘年会があります。楽しく1年を迎えられるように皆さんも体に十分注意して頑張りましょう。